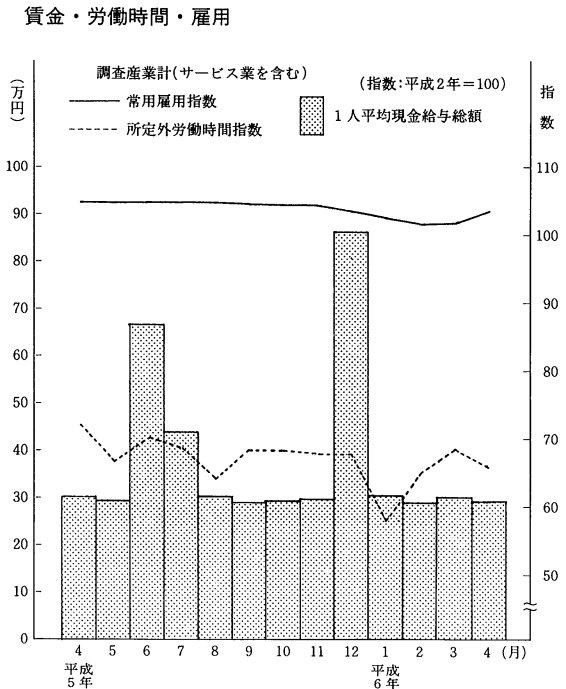
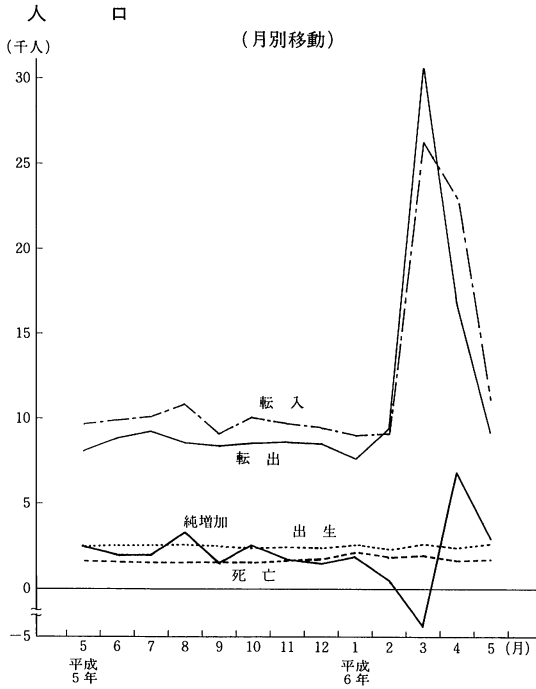
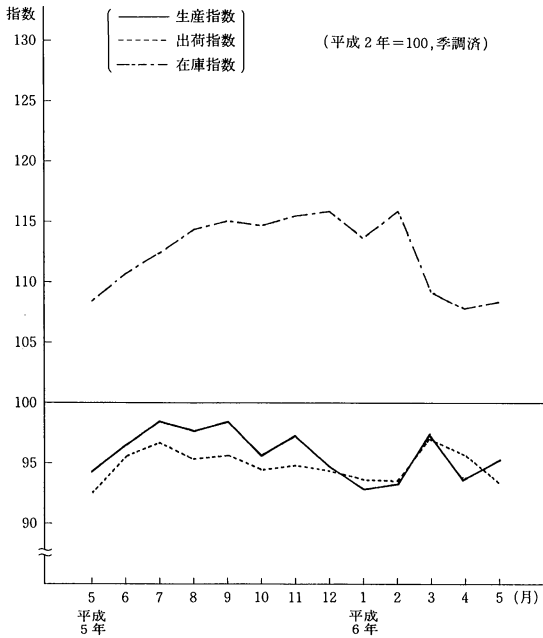


● 今月の主な動き

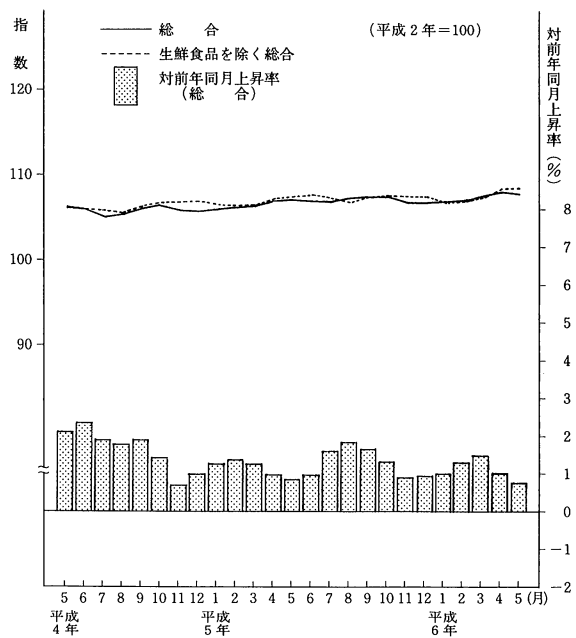
今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (6月1日)

本県の人口は、5月中に2,874人増加し、6月1日現在で、2,940,086人(男1,470,058人、女1,470,028人)となった。

内訳は、自然動態で1,066人(出生2,690人、死亡1,624人)増加し、社会動態で1,808人(転入11,027人、転出9,219人)増加した。前年同月と比べると21,965人(0.75%)の増

加である。

市町村別では、増加が16市46町村、減少が4市19町村、増減なしが2町村である。

世帯数についても5月中に、2,001世帯増加し907,268世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (4月)

1. 平均賃金の推移

4月の現金給与総額は、調査産業計で298,768円、対前年同月比1.3%減、このうち、きまって支給する給与は292,159円、対前年同月比1.6%減であった。また、このうち、所定内給与は267,259円、対前年同月比1.1%増であり、超過労働給与は24,900円、対前年同月比8.1%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比1.7%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

4月の総実労働時間は、調査産業計で168.3時間、対前年同月比1.7%減であった。このうち、所定内労働時間は155.5時間、対前年同月比1.1%減、所定外労働時間は、12.8時間、対前年同月比8.6%減であった。

3. 雇用の動き

4月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.5%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (5月)

本県における平成6年5月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が95.0、出荷が93.0、在庫が108.3で、前月比は、生産が1.6%の上昇、出荷が2.4%の低下、在庫が0.5%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が0.7%の上昇、出荷が0.5%の上昇、在庫が0.2%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では、一般機械工業、電気機械工業、非鉄金属工業が上昇し、鉱業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。出荷では、鉱業、電気

機械工業、鉄鋼業等が上昇し、輸送機械工業、一般機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、石油・石炭製品工業、電気機械工業等が上昇し、鉱業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、資本財、耐久消費財が上昇し、非耐久消費財、建設財等が低下した。出荷では、耐久消費財が上昇し、その他生産財、非耐久消費財等が低下した。在庫では、その他生産財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (5月)

平成6年5月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で107.6(平成2年=100)となり、前月比0.2%の下落、前年同月比0.8%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……シャツ・下着4.7%、衣料4.4%、酒類2.1%、調理食品1.4%

今月の下がった主な項目……野菜・海藻9.9%、魚介類2.7%、飲料2.4%

生鮮食品を除く総合は108.3となり、前月比は0.2%の上昇、前年同月比は1.0%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.6	△0.2	0.8	保健医療	103.0	0.0	0.2
食 料	106.3	△1.4	0.5	交通通信	99.5	0.0	△1.0
住 居	114.9	0.3	1.7	教 育	114.0	0.0	3.5
光熱・水道	102.7	0.0	△0.5	教養娯楽	109.2	△0.5	0.4
家具・家事用品	100.2	△0.1	△1.4	諸 雑 費	104.5	0.2	0.7
被服及び履物	116.6	3.4	4.1	生鮮食品を除く総合	108.3	0.2	1.0